



わたなべ正博 通信



No.126

2015年10月

- ① 9月議会一般質問「長野大学公立法人化」
- ② 戦争法廃止の国民連合政府の実現

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 《部内資料》
【わたなべ正博後援会】

上田市はなぜ長野大学を公立大学法人化するのか

答弁 ①今後18歳人口が極端に減り存続が厳しい状況にある。②入学者の約8割が長野県内出身者で地域にとつて必要な存在となっている。③若者人口の増加につながるとともに、教職員と学生の消費支出や大学運営にかかる支出などの経済波及効果をもたらす。④歴代の町長・市長が理事として運営に関わり財政面でも補助金による支援をしてきた経過から、市として存続させる責務がある。⑤学生募集に重きを置く必要がなくなり、教職員が教育研究の質の向上に専念できる。⑥上田地域の若者の定住と地元産業の活性化を図る拠点にするためにも公立大学法

人化を起爆剤にしたい。

長野大学の特徴とその評価

答弁 ①学生に対するサポートが非常に手厚い。②障害のある学生の在籍比率が全国でもトップクラス。③地域貢献度ランキング私立大学部門で5年連続で第1位。④社会福祉士の国家試験の合格率が平成26年度は65・5%と全国平均の27・0%を大きく上回っていることは誇れること。

大学の自治と学問の自由の保障

市の「理事長と学長を別に置く」方針は大学との調整の上でこのことか

答弁 大学側では「理事長と学長は、同じが好ま

しい」との方向性が一旦出されたと聞いているが現時点では決定していない。今後、大学の意見も聞いた上で慎重に検討し、判断し定款の中で定める。

仕事への意欲を持つことや引き出すモチベーションの課題としても、教育サービスの支える教職員の待遇は重要

教職員の現行の労働条件を守ることが「学内合意」されていると聞くがどうか

答弁 大学の労使合意について尊重することを基本としながらも、今後、「公共性」「市民理解」を鑑み市側と大学側との協議を本格化させたい。



わたなべ正博のノート

- 1日 上田市水道局料金センター開所式
 - ・観光議員連盟「真田街道散策」
 - ・観光議員連盟「専門委員会」
 - ・上田市福祉大会
 - 2日 議会広報担当事務局と会議
 - ・クラフトフェア「あいそめの湯」
 - 3日 美ヶ原高原「笹刈りボランティア」
 - 4日 上田駅前モーニングスピーチ
 - 5日 広域連合「保健福祉委員会」
 - ・議会広報特別委員会
 - 6日 東塩田自治連研修旅行「琵琶湖」
 - 【一泊】
 - 8日 生活相談「市税・・・」
 - 9日 全国都市問題会議「長野市」
 - 10日 東塩田保育園運動会
 - ・「真田丸」放送に向けての出陣式
 - 赤旗信州秋まつり「松本市」
 - 11日 中組自治会運動会
 - ・浅間池代表会
 - 12日 民主長野県人会「鹿教湯温泉」
 - 議会報告会リハーサル
 - 16日 森林林業林産業議員連盟
 - モルティ塩田「街頭演説」
 - 17日 議会報告会「塩田公民館」
 - 19日 上田地域広域連合議会10月定例会
 - 20日 議会報告会「上野が丘公民館」
 - 21日 定期検診「生協診療所」
 - ・議会報告会「丸子ふれあいステーション」
 - ・リサーチパーク管理組合と下之郷自治会との懇親会
 - 22日 上田地域広域連合議会10月定例会
 - ・議会報告会「サントミューゼ」
 - 23日 議会会派代表者会
 - ・観光議員連盟専門委員会
 - ・農政議員連盟専門部会
 - ・議会報告会「サントミューゼ」
 - 24日 国民健康保険学習会「松本市」
 - 25日 戦没者慰霊祭
 - ・医療生協「健康まつり」
 - ・下之郷自治会役員慰労会
 - 26日 上田駅前モーニングスピーチ
 - ・東信5市議員研修会「小諸市」
 - 27日 会派視察「沖縄」
- 【29日まで】

(10月4日現在)

【10月】

安倍政権は、勝手に憲法の解釈を変えて違憲の法律を成立させることで立憲主義を踏みじり、海外で戦争できる国に日本を変えることで平和主義を葬り、国民の多くが反対しているにもかかわらず民意を無視して採決を強行することで民主主義を破壊した戦後最低、最悪の政権にほかなりません。

日本共産党は「戦争法廃止の国民連合政府の実現」をよびかける

戦争法案は参院本会議で、自民・公明の与党だけでなく、次世代の党、日本を元気にする会、新党改革の野党3党などの賛成で可決されました。戦争法案に賛成したこれらの政党に属する議員を落選させることで、その責任を問う必要があります。

このような議員を国会から追い出すためには、選挙で落選させなければなりません。落選させるためには、代わり当選できるような候補者を立てる必要があります。

そのためには、戦争法に反対する野党が力を合わせ、選挙で勝利できるようにしなければなりません。



その目標は、戦争法廃止の国民連合政府であることが、今回の提唱によって明示されました。

「一点共闘」のカギを握るのは民主党の対応

それは、戦争法案に反対して共闘した日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党と山本太郎と仲間たちの5党を構成要素とする必要があります。

これに無所属の議員や市民など幅広い階層を糾合しなければなりません。

同時に、このような「一点共闘」のカギを握るのは民主党の対応だと思えます。

国民の期待を裏切った民主党は、今も完全な信頼を得ているとはいえませんし、日本

共産党との連携に抵抗する勢力も存在しています。

他の政策的な相違を脇に置いて、反共主義を克服して共闘に踏み出せるかどうかは、民主党の再生にとってのカギです……。

さらに、日本共産党との協力・提携による国民連合政府への参加は、民主党にとって国民の信頼を回復する絶好のチャンスです……。

「草の根」での国民の怒りを糾合した形での政権交代

安倍暴走政権に対しては国民連合政府を対置するということになりました。

これ以外に、安倍首相の暴走にストップをかけて戦争法を廃止させる道はないでしょ

う。

民主党を始め戦争法に反対した他の野党も、この日本共産党の提唱を真剣に検討していただきたいと思えます。

大きく盛り上がった国民運動はそのことを求めており、このような運動の発展によって国民連合政府の社会的基盤は形成されつつあります。

2009年の政権交代にはこのような社会的基盤が欠落していましたが、今回は大きく異なります。

「風頼み」の一時的ブームではなく、「草の根」での国民の怒りを糾合した形での政権交代となるでしょう。

